日 時 令和7年7月3日(木) 18時30分 ~19時30分

場 所 沖館地区産地機能増進推進施設(鳥海会館)

対象地区 沖館

参加人数 5名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○消防団員のチェーンソーの使用について (市民から) 今年の春の消防団会議の席で、出動時にチェーンソーを使えるのか相談したところ、資格がないため使用できないと言われた。地域を守るために集まっている消防団が、災害が起きても使うことができない状況は何とかならないか。</p> <p>(市から) ・本部会議の中で意見があったのは承知していたが、装備もない実情もあり危険性を鑑みると使用できないと回答していた。 ・今後も検討課題としていきたい。</p> <p>(市民から) エンジン式とバッテリー式のチェーンソーがあると思うが、どちらも資格がないと使えないのか。いざというときに使えないのは困るし、使うと罰を受けることになるのか。早期に解決してほしい。</p> <p>(市から) ・農家はチェーンソーを持っている場合があるが、資格がなければならないという基準になっているようなので、市ではそのような対応としていた。 ・公的に消防団活動としてチェーンソーを使用するのは、やはり危険を伴うためそれをどこまで許可できるのかというところもある。 ・法的な面などを調べ、整理した上で担当の係より連絡する。</p>
<p>○スマート農業に対する補助について (市民から) りんごの人工受粉の際にラブタッチの静電タイプには3分の1の助成があるとのことであるが、スピードスプレーヤーに付属するフルーツパウダーが自分としてはすごく効果があると感じていた。ラブタッチの静電タイプだけに補助金を出すのではなく、農家が希望するような機械があれば補助をするようにしてはどうか。</p> <p>また、スマート農業に関連して、果樹に使う発泡スチロール製の新しい反射板がデビューする。置くだけで設置可能なものとなっており、風でも飛びにくい。農水省が定めるス</p>

スマート農業は GPS 搭載の機器等であつたりすると思うが、従来からあるようなものでもアイデア次第でスマート農業になりそうなものについては、県なり市で認定しても良いのではないか。

(市から)

- ・ラブタッチについては、従来の方法に比べて 10 分の 1 の花粉量で済み、結実量の確保につながるということもあり、ふるさと納税の寄付を原資に補助を行っていた。現時点でスピードスプレーヤーのものは考えていなかったため、対応可能か含めて検討していきたい。
- ・置くだけの反射板については把握していなかったため、メリットやデメリットを調査した上で検討したいと思う。

○竹館小学校統廃合の場合のスクールバス運行について

(市民から)

大坊小学校は統廃合でなくなるが、竹館小学校もあと 2 年で平賀東小学校と統合することで話が進んでいる。子どもが少なくなっている現状では避けられないと思うが、中学校に行くよりも遠い小学校に通うことになるのは負担になると思うので、スクールバス等の子どもたちが安心して登校できる手段を考えてほしい。

(市から)

- ・竹館小学校の統合は令和 10 年 4 月 1 日になる予定で、令和 8 年から 9 年にかけて調整を行っていくが、大坊小学校の例を見ながら、スクールバスの件についても検討を行っていく。
- ・保護者からスクールバスについて意見は出ていないか。

(市民から)

反対意見はないが、熊などを心配しているようだ。

(市から)

- ・安心して統合できるよう進めていきたいと思う。スクールバスは交通安全や熊などを考えても有効なものであると思うので、考えていきたい。
- ・柏木小学校と大坊小学校、竹館小学校、平賀東小学校の保護者アンケートにおいて、全体で 9 割以上が統合に賛成であった。スクールバスを走らせてくれればという条件であったので、教育委員会としてはスクールバスを前提として考えている。
- ・スクールバスを運行する場合は国の補助の関係で距離の基準があるが、何キロメートルと定めると同じ地区でも隣はスクールバスに乗れるのに自分は乗れないということが起きるため、距離については柔軟性をもって進めていくこととしていた。

○水道管からの水漏れについて

(市民から)

水道水の漏れが去年から自分の近所で3件あり、多くなってきたように思う。この地区は簡易水道組合があるので直ぐに対応できたが、立て続けに起きているので、対策は考えているか。

(市から)

- ・市の計画のヒアリングの中でこの内容は聞いていた。今は新館の高速道路付近が毎年水漏れしているとのことで、3年かけて最重点で工事を行うと聞いていた。次に沖館か尾上総合支所付近の工事を行うということであった。
- ・上水道は新屋の配水場からこちらに来ているため、その本線の耐震化を基本にしながら進めているところである。

○道路の崩れている箇所について

(市民から)

町会内の道路について、下水道の継ぎはぎの道路で崩れている箇所がある。何とかならないか。

(市から)

- ・道路の痛みについては、持ち帰って担当課に伝えたいと思うが、町会の中でも優先して修繕してほしいところもあるかと思われるので、具体的内容については町会要望で頂ければと思う。
- ・順次対応していきたいが、今年度の町会要望については42町会から82件あり、ほとんどが道路や側溝関係である。一度にはできないため、ご理解いただきたい。

○りんご高密度植栽培に対する補助について

(市民から)

現在、市で行っている果樹の嵩上げの事業、4分の1の補助は他市町村では行っていないので、他の農家から大変羨ましがられた。補助があったおかげでりんご品評会で賞をもらうことができたと思うので、ぜひ続けてほしい。

(市から)

- ・高密度植栽培の経費が10アールあたり280万円程度かかる中で、150万円ほど支援してきたが、現在は国県市の補助で62万円程度の負担で制度を作っている。
- ・補助について、最初は3年くらい様子を見て行っているが、予算は無限ではないので、そのままの形で続けて行うのは難しいと思われる。

○熊の出没について

(市民から)

今年は熊の出没が多いが、なぜ熊が多いか市役所で分かっていたら教えてほしい。

(市から)

- ・山手では出ていたが、市街地での出没は想定外であった。
- ・今回のようなものは滅多にないと思うが、これから個体数が増えていく中で気を付ける必要があると考えている。
- ・なぜこちらで出たのか正確な理由は不明である。

○県道の除雪について

(市民から)

市の除雪は良いのだが、県道と市道の接点の雪が山になっており、通過するときに徐行しなければならない。県へ配慮するよう要望できないか。

(市から)

- ・確認した上で担当課に伝え、県と話をするようにしたいと思う

○昨年の豪雨被害について

(市民から)

去年の豪雨災害で自分の川沿いの畑で崩れた箇所があり、一度見に来たのだが、まだ直さないのか。

(市から)

- ・県の所管となると思うが、場所を確認させていただきたい。